

令和5年度事業報告

■公益目的事業

◆助成顕彰事業（第15回）

「創造する伝統賞」の主催（定款 第4条 第1項 第2項）

2023年度助成顕彰事業として「創造する伝統賞」募集を行い、2023年9月8日に選考委員会を開催。2023年10月5日の理事会の決議を経て2名に授与した。

「第15回創造する伝統賞」 賞金各100万円

- 黒澤 有美 47歳 箏曲演奏家、作曲家
- 本間 健司 48歳 木漆芸家

1. 対象

日本の伝統文化及び現代芸術の広い分野を対象とする。国籍不問。

2. 募集応募概況

発 送 先:美術館・博物館・新聞社・雑誌・大学・財団役員他関係者・文化藝術の会会員歴
代助成顕彰関係者・歴代奨学生・評論家・画廊・資料請求者 ほか

発 送 数:1,428通

告 知:WEBサイト（ホームページ、SNS等）、会報、邦楽ジャーナル、美術の窓、
月間美術 ほか

応募総数:34件（一般公募20件、推薦応募14件（内推薦印推薦2件））

3. 選考委員会

開催日時:2023年9月8日 13:30~15:30

開催場所:京都芸術大学 望天館2F 会議室

出 席 者:古山正雄委員長、池内務委員、大野木啓人委員、唐澤昌宏委員、
倉方俊輔委員、茂手木潔子委員

役 員:北村誠常務理事（オブザーバー）

事 務 局:事務局員3名

選考方法:4月1日に情報公開し、告知。6月1日から6月30日にかけて募集した。応募者は34名。昨年よりも7名増加。事前に選考委員に全応募者の資料（申請書類、映像、音源、スキャンしてデータ化したポートフォリオ・書籍等資料）をオンラインで共有（希望者には印刷したものを送付）し、閲覧を依頼。各委員の事前審査により候補者を選出し事務局へ提出。集計結果をもとに選出のない応募者についても評価すべき対象者がなかったかを確認後、各委員の選出があった対象者を審議した。選出した各委員から選出理由の説明を受けた。対象者全ての選出理由を確認後、審議。最終的に2名を受賞者とする事を全委員意義なく決定した。

4. 理事会の決議

2023年10月5日の理事会で、選考委員会より選出された2名への「創造する伝統賞」授与を決議した。

5. 授与式典の開催

開催日時:2024年2月14日（火）13:00~15:30

開催場所:明治記念館（曙の間）

出 席 者:[受 賞 者] 黒澤有美 本間健司

- [助成顕彰選考委員] 古山正雄委員長、大野木啓人委員、唐沢昌宏委員、池内務委員 茂手木委員
- [奨学金選考委員] 寺脇委員長、椿昇委員、成田宏紀委員、杉浦幸子委員、近藤健一委員
- [役員] 徳山豊理事長、北村誠常務理事、吉村七重理事、栗本徳子理事、石井博康理事、津田恵子理事、室瀬和美理事、安孫子正評議員、脇田直枝評議員、根岸吉太郎評議員、野呂英美子評議員、渋谷佳樹監事
- [来賓] 文化庁 圓入由美参事官

内 容：理事長挨拶、来賓祝辞、創造する伝統賞選評、賞状・賞金目録の授与、日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、奨学生活動紹介、授賞者活動紹介、授賞者活動展示、奨学生活動展示

6. 賞金の授与
2024年2月 本人名義の口座に振込にて授与

7. 授賞者の紹介
リリースの発行（関係各所への発送および当財団 WEB サイトで公開）
授賞者紹介の小冊子を作成し関係者へ送付

◆育英事業

芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付（定款 第4条 第3項）

(1) 日本文化藝術奨学生

2023年度育英事業として「日本文化藝術奨学生」の募集を行い、2023年9月26日に選考委員会を開催。2023年10月5日の理事会の決議を経て、13名を奨学生として決定した。

日本文化藝術奨学金 各 50 万円				
高橋 侑子	タカハシユリコ	24	東北芸術工科大学	
江崎 空悟	エザキクウゴ	22	武蔵野美術大学	
中村 瑛美	ナカムラエミ	23	多摩美術大学	
上田 さつき	ウエダサツキ	25	東京藝術大学	
鈴木 理利子	スズキリリコ	23	東京藝術大学	
中村 暖	ナカムラダン	28	東京藝術大学	
諏訪部 佐代子	スワベサヨコ	27	東京藝術大学	
三浦 琉聖	ミウラ リュウト	22	愛知県立芸術大学	
中川 桃子	ナカガワモモコ	30	京都芸術大学	
北村 佳穂	キタムラカホ	24	京都工芸繊維大学	
刀禰 静	トネシヅカ	23	京都市立芸術大学	
堀川 すなお	ホリカワスナオ	36	京都市立芸術大学	
鬼河 ひなた	キカワヒナタ	23	広島市立大学	

1. 対象者

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

(1) 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること

(2) 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。
ただし別途定める指定校は対象とする。

2. 募集応募概況

募 集：大学院生 13名 奨学金 1年間 50万円の給付

募集期間：2023年6月1日から2023年6月15日

申請書類：①オンライン申請（入力事項：基本情報、申請事由）

②申請時の添付提出資料（在学証明書、成績証明書、推薦書、活動資料）

応募状況：応募総数 65名（昨年 51名：14名増）

応募状況の特記事項：東北芸術工科大学（3名→6名） 東京造形大学（1名→3名）
武蔵野美術大学（1名→8名） 多摩美術大学（4名→8名）
東京芸術大学（15名→12名） 京都芸術大学（8名→6名）
京都工芸繊維大学（0名→3名） 沖縄県立芸術大学（1名→5名）

3. 選考委員会

開催日時：2023年9月26日（火） 14:00～16:00

開催場所：京都芸術大学 外苑キャンパス

出席者：寺脇研委員長、椿昇委員（オンライン）、近藤健一委員、杉浦幸子委員、三瀬夏之介委員、成田宏紀委員

欠席者：無し

事務局：和田事務局長、小崎結衣

○選考資料

- ・ 日本文化芸術奨学金 学校別応募人数
- ・ 日本文化芸術奨学金 学校別過去の受給者数
- ・ 応募者資料（応募書類一式） ※事前共有
- ・ 応募者資料（ポートフォリオ等参考資料） ※スキャンしたものを共有

○選考方法

- ・ 事前に選考委員に全応募者資料のデータを送付し、閲覧・候補者の選出を依頼した。
- ・ 年度日本文化芸術奨学金事業積立金より2名の追加を行い12名を選出したが、今年度は同積立金よりさらに1名追加となり、奨学金受給者の候補者を13名選出することが、事務局より報告された。
- ・ 選考実施要綱で多数決で決めるとの基準に則り、各委員が事前審査した結果を一覧化し、上位者より選出を行った。適宜、応募者から提出された申請書類や作品を確認した。
- ・ 大学の教員が他大学の大学院に在籍し応募してきたが、募集要項や給付規程に条件が明記されておらず、また本奨学金が困窮者を対象とするものではないため、今回は選考を行い、当該者を選出した。
- ・ 選考の実施要綱では同一大学からの複数受給を避けるため、同一大学からの選出は選出者の3割を超えないことを基本とするとあり、今回13名を選出するにあたり東京芸術大学から3.9名（=3名）の選出を基本とすることが確認された。しかしながら全員での協議の結果、幅広い大学から選出する方針は踏まえつつも、今回の数値が3.9名という限りなく4名に近い数値であること。また該当者を外した場合に選出される次点の候補者との差が大きいため、十分に検討したうえで全員一致で東京芸術大学より4名を選出した。ただし、寺脇委員長の提案により、理事会で東京芸術大学は3名にすべきとの審議に備え、次点候補者を1名選出することとした。

- ・ 10月から3月まで休学予定の候補者がいたが、募集条件に基づき、応募時に就学しており、かつ次年度在籍予定であることから選考を行い、選出した。
- ・ 推薦状が他財団となっていた応募者は書類不備で不可とした。
- ・ 寺脇委員長が、候補者の出身大学が東京藝術大学を除き、各地域の大学に分散した結果となったことを確認し、合計13名及び次点1名の候補者が全員一致で決定した。

4. 理事会の決議

2023年10月5日の理事会で、選考委員会より選出された13名に奨学金授与を決議した。

5. 授与式典の開催

開催日時：2024年2月14日（火）13：00～15：30

開催場所：明治記念館（曙の間）

出席者：[奨学生] 江崎空悟、中村瑛美、鈴木理利子、諏訪部佐代子、三浦琉聖、中川桃子、北村佳穂、刀禰静、堀川すなお、ナギソラ（鬼河ひなた）

[助成顕彰選考委員] 古山正雄委員長、大野木啓人委員、唐沢昌宏委員、池内務委員 茂手木委員

[奨学金選考委員] 寺脇委員長、椿昇委員、成田宏紀委員、杉浦幸子委員、近藤健一委員

[役員] 徳山豊理事長、北村誠常務理事、吉村七重理事、栗本徳子理事、石井博康理事、津田恵子理事、室瀬和美理事、安孫子正評議員、脇田直枝評議員、根岸吉太郎評議員、野呂英美子評議員、渋谷佳樹監事

[来賓] 文化庁 圓入由美参事官

内容：理事長挨拶、来賓祝辞、創造する伝統賞選評、賞状・賞金目録の授与、日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、奨学生活動紹介、授賞者活動紹介、授賞者活動展示、奨学生活動展示

6. 奨学金給付

2024年2月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

2024年7月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

※中村暖については卒業要件を満たしたため2023年度に卒業した為辞退となり、2023年度奨学生は12名となった。

◆文化芸術普及活動事業

自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録（定款第4条第4項第5項第6項）

1. 「創造する伝統 杜の中の文化祭」

特別講座：細川護熙が語る「襖絵からウクライナまで」

開催日：2024年2月17日（土）

講師：細川護熙

場所：京都芸術大学 外苑キャンパス

※100名近くの出席希望を受付けたが、講師体調不良により急遽中止となった。

2. WEBでの告知、情報公開等

- ・文化藝術の会入会案内、受付
- ・これまでの助成顕彰事業授賞者、奨学生の最新の活動情報の発信

ホームページ <http://jp-artsfdn.org>

Facebook <https://www.facebook.com/jparts.fdn>

Instagram <https://www.instagram.com/japanarts.fdn>

3. 文化藝術の会の運営

- ・賛助会員システム（WEB管理システム）の運用
- ・新規登録、継続登録の受付
- ・会報発行